

わたしたちの町

人口(男) ... 4,643人
(女) ... 4,997人
合計 ... 9,640人
10月中の転入 ... 23人
転出 ... 21人
世帯数 ... 2,309世帯

(10月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和56年11月28日 第282号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、毎月15日に発行を予定しています。中学校生徒会の委託により、各家庭に配布されますので、届かない場合は役場総務課にお知らせください。

広報へのニュースの提供や意見等もおまちしています。

快走「合川路」に48選手 木戸石チームが優勝



十一月七日、杉山田一中学校間十三・三キロメートルの区間で第一回町駅伝大会が開かれました。参加者は八チーム四十八選手。沿道の大応援の中を各選手が力走。追い追われのレース展開に大きな拍手が贈られていました。

産業文化祭の開かれています中学校前では、ゴールを待つ観衆でいっぱい。大歓声の中を木戸石チームが一位でゴールしました。

この大会は産業文化祭を「体力づくりの祭典」にもしようという行なわれたもので、これからも毎年開催を計画。百キロコンベンなど体力づくりの総決算の大会にしようと話合っています。

第一回大会の成績は次のとおりです。優勝——木戸石チーム(四十八分四十秒)②芹沢根田③下杉④大野台の里厚生園⑤大野台⑥上杉⑦南地区⑧李岱

第1回町駅伝大会

産業文化祭にあわせて

公立合川高校

創立三十周年を祝う 地域と育つ独自の校風

公立合川高校では十一月一日、創立二十周年と寄宿舎心と寮竣工の祝賀会を開きました。昭和三十七年、秋田短期大学付属合川高校としての開校以来、二十年の歩みは、地域の発展を映し独自の校風が育てられてきました。祝賀会には、遠方からかけつけた卒業生も参加し、母校の充実ぶりを喜び合っていました。

合川高校の卒業生は三千二百七十一名。『自律・友愛・創造』の校訓のもとに、地域の中核となる人材が育てられてきました。昭和四十七年には鷹巣阿仁五町村の組合設立による「秋田県公立合川高校」としてスタート。県内唯一の町村組合経営の高校として着実な成果をあげてきました。

社会人としての基礎をしっかりと培うために学業とクラブ活動の両立をめざし、特にフエンスの全国優勝は地域全体の大きな自信となっていました。今年には野球部の活躍が、町民を熱狂させました。

進学・就職も県内外に定着した評価をうけています。大野台への企業誘致でも地元高校としての合川高校への期待が、大きな要因となりました。

合川高校の独自の校風を支えるものに後援会活動があります。後援会ではスクールバス、食堂、売店などを引き受け、学校生活に全面的に協力しています。地域・生徒・職員が一体となった学校づくりが、二十年の伝統を築きあげてきました。

竣工。その後、年次計画で校舎体育館、武道館、音楽室などを新築。ナイター球場も併設され恵まれた自然環境の中に教育施設の充実が図られてきました。新築された寄宿舎は、男子三十八名女子十二名を収容。ホテルなみのデラックスな整備と無落雪屋根が自慢です。また先生たちが輪番で泊まりこむことにしており、ユニークな、全人教育の場となることが期待されています。

祝賀会では功労者として六十名を表彰。記念誌と同窓会名簿を発行し、一層の充実を誓い合いました。

在校生五百二十九名も、 新たな意欲に燃えて



デラックスな 寄宿舎が完成

昭和三十九年に特別教室棟が

飲まないで 車を車庫にしまいうまで

十二月一日〜十日 年末の交通安全運転
十二月一日〜三十一日 飲酒運転追放強調県民運動

南小学校 三年 松橋 幸子さん

太子講(でやんしこ)

太子講のお祭りは旧暦の十二月四日、十四日、二十四日の三回あります。太子講には収穫感謝と明年の豊作への祈りもこめられており、各地で様々な「食べ物」の風習が伝えられています。

四日「小豆がゆ」 十四日「小豆めし」 二十四日「小豆もち」 当町では、こんな風習が伝えられています。「子供が多くて苦労した昔の人が『努力すればだんだんといよいよものが食べられるようになる』と教えたのです。」鎌沢・御所野長三郎さん。

太子講の供物は長いかわのしを使い、そのしは神殿にあげて保存し、翌年、苗代に立てて田の水を見る目やすにされました。「二十四日の太子講の日にはふぶきになると、その年は豊作になる」という言い伝えもあります。

冬の暦と食べ物風習では、「冬至の日にカボチャ」と言うのが知られています。カボチャ(南瓜)の南が難に繋がって、それを食べることで、災難にあわないうとも言われています。この言い伝えは、健康的にもたいへん意味深いものです。それぞれの言い伝えが、冬を生きる人々の「生活の知恵」でもあったのだしょう。

今年の産業文化祭は冷害と開催日程中の悪天候にもかかわらず、極めて盛況であった。農協職員と公民館職員を中心に町内あらゆる団体の積極的参加と冷害にもかかわらず、優秀な農産物の出陳があり、船村徹先生の記念講演や芸能発表とあわせて町民多数の参加によるもので成功裡に閉会した。

開催日の午後、開催日の午後、は県消防協会大館北秋田支部主催の消防想定訓練に出席した。合川駅前が大火の想定のもとに、鷹巣阿仁部四カ町村の常備非常勤消防の署員団員がそれぞれ消防車等を出動させて、実演しながらの感で充実したものであった。最後に消火器使用による油火災の消火活動が婦人も加えて行われた。

町長日記から

私は、この想定訓練の統監として帽子と消防作業服を着て駅前に配置された各部署を巡視し、それぞれの責任者から報告を受けた。あとで私の規律と敬礼が板についていたとほめられたが、軍隊以来の三十星霜を経てのことなので本人は内心ははらしていただいていた。特に一兵卒であった私が將軍のようにならなかつたので、相手より先に拳手したりしないかと一番気をつかった。子供や青年時代、青年初期の生活訓練は何十年たっても充分生かされることを実感したものであった。(義)

冷害をはねのけよう

決意新たに第6回産業文化祭

第六回町産業文化祭は七日、八日の両日、合川中学校で開かれました。期間中、十一月としては記録的な大雪が降る悪天候。田んぼには刈り入れ前の稲が見え、今年の異常気象を象徴するような天候にもかかわらず、例年以上の参加者でにぎわいました。

記念講演講師は作曲家の船村



徹氏。苦難を乗り越えたと人生論と人々との出会いをユーモアを交えて語り、感動を与えていました。

展示物では、冷害を乗り越えざる苦勞のあとをうかがわせる農産物に多くの視線が集まっています。大野台に進出が決まった三社では、自社製品などを展示。明るい話題を呼びました。

紙芝居、体験コーナーなど、各コーナーごとに参加者を惹きつける工夫がこらされ、それぞれに人だかりができて大にぎわい。「冷害に負けず、産業も文化も着実に前進させよう」という誓いがあふれていました。

人気を呼んだ紙芝居「エコーハイツ」
「ハイランドハウスコナー」。

鈴木忠寿さんに銅メダル

銅メダル

十月二十四、二十五日滋賀県大津市で開かれた第十七回全国身体障害者スポーツ大会で、鈴木忠寿さん（福田・多治郎さん長男）はソフトボールと千五百メートルに出場。ソフトボールでは三位に入賞し銅メダルが贈られました。



銅メダルを胸に鈴木忠寿さん

連合青年会で二十五周年誌刊行

二十五周年誌刊行

町連合青年会では二十五周年記念誌「陽光」を発行しました。

内容は二十五年の歩み、現在の青年たちの姿、将来の青年像など、多くの人の生の声を集めながら、貴重な「町史」となっています。

土地公売公告

- 一、物件の表示
土 地
二、所在地
合川町下杉字孤森三五番一六三、面 積
六毫四〇〇（台帳面積）

- (1) 入札の場所
秋田県公立合川高等学校
入札参加者申込日時
昭和五十六年十二月八日
午前十時
入札の日時

第三十三回人権週間

十二月四日～十日

- (4) 昭和五十六年十二月十二日午前九時半～切開同時開札
入札保証金
入札額の百分の五以上
契約の締結
契約決定後五日以内
契約の保証金
契約額の百分の十以上
契約代金の納期
昭和五十七年一月二十日限り
物件の案内
現場説明昭和五十六年十二月十日 午前十時
合川高等学校集合

- 建設場所・戸数 合川町八幡橋新田字林八九一 十戸
住宅規格 一戸建木造平屋建 五十八・三二㎡
家賃 月額一万四千円（予定）
入居資格 (一)同居する家族があること (二)収入金額月額五万五千円以下であること（控除分を除く） (三)現在・住宅に困っていること (四)単身老人
入居予定時期 昭和五十七年一月一日（予定）
申込締切 昭和五十六年十二月十五日
入居者の選考 合川町公営住宅入居者選考委員会で行う。
申込用紙・問い合わせは役場福祉課へ。

公営住宅 入居希望者募集

- 〔香典返しにかえて〕
後藤正一 下杉（故父万太郎）
杉浦忠雄 杉山田（故父鶴松）
松橋秋雄 摩当（故母サエ）
木村良光 駅前（故父良吉）
〔赤い羽根共同募金〕
戸別募金 一、二二〇、〇七〇円
職域募金 四一〇、〇〇五円
（大野台の里施設職員、ハイランドハウス職員、ことぶき荘職員、町職員）
学校募金 三三、〇九二円
（小学校先生・合川中学校生徒会）あきかん募金
個人募金 七二、〇〇〇円（民生児童委員・町議会議員）
街頭募金 八、二七六円（合川高校JRC部員・役場窓口）
合計 一、七三三、四四三円

善意のご寄付

（敬称略）



合中生徒会ではあきかん募金で共同募金に協力。

火災シーズンをむかえ、二十日、合川中学校で大館北秋田地区の中学生防火弁論大会が開かれました。大会には各中学校から十名の弁士が参加。身近な火災体験など、火の恐ろしさを訴えました。三位に選ばれた合川中学校三年生藤奈穂美さん（火事は心のすきまから）の発表をお伝えします。

今年は思いもかけない早い雪に見舞われました。どこの家でも、びっくりにしたにちがひありません。さて、こうした冬の季節を迎えると、テレビや新聞を通していやおうなしに火事のニュースが相つぎます。今年は、すでに、火災による死者は十八名にも達しているそうです。

火災シーズンをむかえ、二十日、合川中学校で大館北秋田地区の中学生防火弁論大会が開かれました。大会には各中学校から十名の弁士が参加。身近な火災体験など、火の恐ろしさを訴えました。三位に選ばれた合川中学校三年生藤奈穂美さん（火事は心のすきまから）の発表をお伝えします。

火事は心のすきまから
細心の注意で火災予防
大館北秋弁論大会三位
合川中学校三年 工藤 奈穂美さん



銅メダルを胸に鈴木忠寿さん

火災シーズンをむかえ、二十日、合川中学校で大館北秋田地区の中学生防火弁論大会が開かれました。大会には各中学校から十名の弁士が参加。身近な火災体験など、火の恐ろしさを訴えました。三位に選ばれた合川中学校三年生藤奈穂美さん（火事は心のすきまから）の発表をお伝えします。

火災の発生しやすい季節です。
火の元点検をしっかりと。避難口、防火用水を確認しておきましょう。

労働保険事務が変ります
雇用保険の届出用紙等が、十月から全面的に変わっています。秋田労働基準局・鷹巣職業安定所にお問い合わせください。

危険物取扱者試験
申込期日 十二月四日
問い合わせ先 広域消防合川分署

慶弔だより
10月届
〇おめでとうございます
後藤千秋 常彦長女 梅栄
高橋 涉 茂 長男 下杉
木村沙由璃 威 長女 駅前
佐藤直子 正治 長女 川井
桜井つ子 忠司長女 下杉
〇おつかやみ申し上げます
桜井サキ 健治母 下杉
後藤万太郎 本人 下杉
松橋サエ 秋雄母 摩当
杉浦鶴松 忠道父 杉山田